

令和 6 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 NAGOMI MIND

1 事業の成果

3期目の決算を迎え、活動継続の可能性を感じるとともに、法人や活動する個人の人々の周辺環境を適宜再確認し、調整していくことが今後の継続のために必要であると認識した1年でした。

年度途中、方針を転換し、国内で運営されている保育施設の多くを網羅するような活動ではなく、まだまだ立ち上げ期にあたるこの法人にとっては、共感者・協働者となり得る方々をつなぎ、自分たちの想う「子どもと大人の良質な時間」を小さくても体現していくことこそが必要なことであると、事業を行ってきました。

以下、その方針のもとで展開された事業について報告致します。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 保育者同士のコミュニティ創造に関する事業

ア 保育者コミュニティづくり事業

- ・内容 幼児教育・保育関係者を対象としたコミュニティの構築
- ・日時 6年11月21日
- ・場所 千葉市美術館
- ・従事者人員 2人、ボランティア1名
- ・対象者 保育者・教師・子供向け講座や教室運営者
- ・支出額 0円

※つながりのある保育経験者との、定期的な芸術体験。当年度は千葉市美術館の『童堂讃歌』鑑賞。次年度の活動につながる着想も得た。

② 子ども保育に関わるすべての人への学びの機会の提供に関する事業

ア 現代芸術教室アートイズ in EDAUME

- ・内 容 現代芸術ワークショップを通じた自己表現・他者受容の時間提供
- ・日 時 2024年1月～2024年12月（月1回を目処に開催）
- ・場 所 佐賀県武雄市
- ・従事者人員 社員3人（うち、事務2名・講師1名） ボランティア2人
- ・対象者 未就学児・小学生児童とその保護者 毎回15組程度募集×12ヶ月=延べ180名
- ・支出額 751,374円

※昨年に引き続き、子どもゆめ基金の助成を請けて開催。青森県から活動拠点を移し2年目の開催ですが、満席の回も多く、地元では「アートイズ＝楽しい」というイメージが定着している様子も聞かれます。年末には SAGA DESIGN AWARD への出展のお声がけをいただきエントリーしました。入賞には至りませんでした。地元で根ざす活動展開によって、今後も大いに発展可能性のある活動であると認識しています。

イ 和らぐアート(アートを通じた幼児教育現場の環境・メンタルの継続的改善活動)

・内 容 保育現場でのアート活動と教職員との振り返りにより、子どもとの関係性・保育活動を対話的に振り返り学ぶ時間の提供。

・日 時 11月18日、12月4・5・21日

・場 所 東京都、千葉県、佐賀県

・従事者人員 社員4人 ボランティア1人

・対象者 未就学児・保育従事者・保護者 毎回20名程度×4回=80名

・支出額 447,525円

※WAM助成の支援を請け開催。保育現場からは、「日頃、子どもの様子について考える時間を個人でも、チームでも取ることが無いため、貴重な時間になった。子どもとの関わり方について、改めて考え直すきっかけになり、すぐに介入するのではなく『ここまでは見守ってみよう』というスタンスに変化した」「普段の保育では考えつかないような遊び方の提案をしてくださり、大変ありがたい」という声をいただきました。

保育現場によって、特色・方針は様々ですが、事業にご協力いただいた団体さんの多くは、当法人と同じ方向性で、子どもが主体的に生き、それぞれに必要なことを学び取る力のある存在であることを共通認識としてっており、それを一緒に外部へ届ける仲間のような存在でもあると気がつく体験にもなりました。

なお事業計画書の(1)②ウ～エについては方針転換により実施せず、同オの事業について形を変えて上記イの活動を実施しました。また、②イならびに④の事業については、実施体制の観点から時期を見直し実施することとしました。

(2)その他の事業

今年度、その他事業は実施しておりません。